

| 科目名 Class | 入学年度 Admission Year | 開講学年・学期 School Year, Semester | 単位数 Credit | 必・選 | 授業担当者 Instructor | 実務 経験 |
|---|---|----------------------------------|---------------|-----|---------------------|----------|
| キャリアデザイン I | 共通 | 3年生・前期 | 2単位 | 選択 | 大多 正人 | |
| 履修の前提条件 | ①「キャリアデザイン入門 I」(2年次)を修了していること。 ②「社会基準」としてマナー(時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など)を実践できること。 ③講演者の話をしっかり聴き、メッセージの要諦を書きとる習慣を身につけておくこと。 | | | | | |
| 授業概要 (Course Outline) | | | | | | |
| <p>「社会を知る」には「体験」が不可欠です。地場中小企業の経営者の「生の声」を聴くことができる貴重な「体験」の機会です。経営理念や指針、ビジネスの現場の具体事例などに触れ、実社会で求められる思考特性・行動特性の理解を深めます。また、経営者の講話を受けて学生同士でディスカッションするアクティブラーニングの場を設けます。「学んだこと・発見したこと」や「それを今後どう活かすか」などを共有し、語り合うことによって、自分ではキャッチできなかったメッセージに気づく「目からウロコ体験」の機会にもなります。これらのアプローチを通して、「社会を知る」ことはもちろん、大学生活をさらに充実したものにし、自身の「キャリアデザイン」に磨きをかけていくことに必ずつながります。</p> | | | | | | |
| 授業を通して修得できる力 (Competency Goals) | | | | | | |
| 知識・理解の観点 Knowledge and Understanding | 多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture | | | | | |
| | 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature | | | | | |
| 汎用的技能の観点 Generic Skills | コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening | | | | | ○ |
| | 数量的スキル Mathematics | | | | | |
| | 情報リテラシー Information Literacy | | | | | |
| | 論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking | | | | | ○ |
| | 問題解決力 Problem Solving | | | | | ○ |
| 態度・志向性の観点 Personal Qualities | 建学の精神 University Founding Philosophy | | | | | ○ |
| | 自己管理能力 Self-management | | | | | ○ |
| | チームワーク Teamwork | | | | | ○ |
| | リーダーシップ Leadership | | | | | ○ |
| | 倫理観 Ethical Sense | | | | | ○ |
| | 市民としての社会的責任 Social Responsibility | | | | | ○ |
| | 生涯学習力 Lifelong Learning | | | | | ○ |
| 到達目標 (Objectives) | | | | | | |
| 1) 社会を知る～「仕事って、働いてってそういうことか」 2) ビジネスの現場を知る～「想像していたより職場は○○だ」 3) 経営者の考えを知る～「会社ってそういうものなのか」 4) 仲間の考えを知る～「そんな考え方もあるのか」 5) 社会で必要となる資質を磨く～「学生生活を充実させて社会に出る準備をしよう」 6) 卒業後のイメージを具体的に描く～「こんなオトナになりたい」「こんな仕事をしたい」 | | | | | | |
| 事前学習の内容 | 講演予定の経営者の企業HPを閲覧するなどリサーチし、企業(業界)研究を進めておく | | | | | |
| 事後学習の内容 | 経営者の講話で学んだこと・気づいたことをノートにまとめ、考えを整理しておく | | | | | |
| 能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning) | | | | | | |
| 企業経営者の講話の中で、あるいは講話を振り返るグループディスカッションにおいて、学生同士で考え方や価値観を共有する場が設けられます。積極的に意見交換し、刺激を受け合いながら、自身の「キャリアデザインの解像度」を高めてくれることを期待します。 | | | | | | |
| 教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour) | | | | | | |
| 授業担当者・ゲストスピーカー(企業経営者)への相談は授業の前後にお願いします。 その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。 | | | | | | |
| その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について | | | | | | |
| 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修チェック表」に必要事項を記載し、初回講義終了後と最終講義終了後試験前日までに、CDCまでメールで提出ください。 | | | | | | |

| 授業計画 (Course Schedule) | | | |
|--|---|---------------|-------------------|
| テーマ Theme | | | |
| 第1回 | オリエンテーション(受講ルール説明、講座の趣旨・進め方) | | |
| 第2回 | 経営者講演①(地元で活躍されている経営者から直接、自社の経営、自らの生き方について聞く) | | |
| 第3回 | アクティブ・ラーニング①(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深める) | | |
| 第4回 | 「社会を知る」ためのアプローチ～企業(業界)研究の進め方(DVD視聴) | | |
| 第5回 | 経営者講演②(地元で活躍されている経営者から直接、自社の経営、自らの生き方について聞く) | | |
| 第6回 | アクティブ・ラーニング②(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深める) | | |
| 第7回 | 経営者講演③(地元で活躍されている経営者から直接、自社の経営、自らの生き方について聞く) | | |
| 第8回 | アクティブ・ラーニング③(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深める) | | |
| 第9回 | 経営者講演④(地元で活躍されている経営者から直接、自社の経営、自らの生き方について聞く) | | |
| 第10回 | アクティブ・ラーニング④(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深める) | | |
| 第11回 | 経営者講演⑤(地元で活躍されている経営者から直接、自社の経営、自らの生き方について聞く) | | |
| 第12回 | アクティブ・ラーニング⑤(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深める) | | |
| 第13回 | 経営者講演⑥(地元で活躍されている経営者から直接、自社の経営、自らの生き方について聞く) | | |
| 第14回 | アクティブ・ラーニング⑥(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深める) | | |
| 第15回 | アクティブ・ラーニング⑦～学んだことをどう活かすか？ | | |
| 第16回 | 定期試験等 | | |
| 教科書 (Textbooks) | | | |
| 書名 Title | 著者名 Author | 出版社 Publisher | ISBNコード ISBN Code |
| 必要に応じて資料を配布 | | | |
| 参考文献 (Reference Books) | | | |
| 書名 Title | 著者名 Author | 出版社 Publisher | ISBNコード ISBN Code |
| 随時紹介 | | | |
| 成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation) | | | |
| <p>①遅刻・途中退席は原則認めない。</p> <p>②ノート・筆記具を持たない学生は受講できない。この科目のためのノートを用意しておくこと。</p> <p>③授業中のノートパソコンやスマートフォンなど情報機器端末の使用を禁ずる。</p> <p>④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。</p> <p>⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。</p> <p>⑥成績評価の方法…平常点(80%)・定期試験(20%) * 受講態度及びグループワークでの活動状況を重視する。</p> <p>⑦定期試験は自筆ノート及び配布資料のみ持ち込み可。</p> | | | |